Ⅰ．具体的な取り組み項目

２．労働組合としての活動

（２）地域におけるものづくり産業の具体的強化策

**基本的取り組み項目**

①ものづくり教室の開催

地方連合会金属部門連絡会など金属の都道府県別組織を中心に、組合員・ＯＢの参画を募り、小学生などを対象とする「ものづくり教室」を開催する。プログラミングなども含めた工作についても、検討する。

背景説明

ひところ若者の理工系離れが指摘されていましたが、地方自治体や専門家が開催する工作教室、実験教室は活況を呈しており、ものづくりや科学に対する子どもたちの興味が薄れているわけではないことがわかります。ものづくりの魅力を子どもたちに伝えるために、金属労協が2003年に開始した小学生などを対象とする「ものづくり教室」は、いまやほとんどの都道府県の金属の労働組合で毎年開催されるところとなっています。一般的に、自治体などが開催するものづくり教室は、木工などが多く、金属を使用したもの、機械の組み立てなどは多くないことから、金属の労働組合の地方組織を中心とした「ものづくり教室」を継続的に展開していくことが重要です。また、小学校は2020年度からプログラミング教育が必修化されており、労働組合が主催する「ものづくり教室」においても、プログラミングなどの要素を取り入れることも考えられます。

コロナ禍の下で、中止を余儀なくされたところが多くなっていますが、

・Ｗｅｂで開催する。

・ワクチン接種がある程度進んだ段階では、子どもの感染状況などを確認しながら、マスクの着用、検温、消毒、換気、３密（密閉・密集・密接）の回避、人数の制限など、新型コロナウイルスの感染防止策を徹底しつつ、開催する。

ことなども検討していく必要があります。

